



太田 慶一

2020年入庁

農林商工部

農林課

Q 1. 志望動機は？

公務員になりたいという気持ちが以前からありました。私は宇陀市で生まれ育ったので、自分の働きが少しでも町のためになったら嬉しいなと思ったのが志望した理由です。

Q 2. 担当業務は？

私は現在、「中山間直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」といった業務を担当させていただいています。これらは、耕作や草刈り、水路の清掃などを通じて、農村環境を守っていく活動に取り組む農家の方々を支援する制度です。また、有機農業に取り組む農業者を支援する「環境保全型農業直接支払交付金制度」、地域農業の将来の在り方を示した「地域計画」の策定など、農業に関するさまざまな業務に携わっています。

Q 3. やりがいについて

宇陀市は農業の盛んな地域です。町中のいたるところで美しい田畑の広がる景観が見受けられますが、これは、地域の方々が、日々汗を流して農地を管理されているご尽力の結果にほかなりません。そういった方々と関りをもって仕事ができることは、自分にとってとても嬉しいことであると同時に、気を引き締めて業務に取り組まないといけないと痛感する毎日です。

Q 4. 市職員のイメージは？

入庁前は、公務員に対して、少し堅苦しくて、型にはまった仕事をする人が多いようなイメージを持っていました。実際に自分が働いてみて感じたのは、業務が多岐にわたって、幅広い知識が問われたり、とっさに物事を判断することが必要な場面が少なくないということです。働く中で、なかなかうまくいかず、頭を悩ませるようなことも時にはありますが、そのたびに周囲の温かいサポートに助けられているなと感じています。

Q 5. 受験者に向けて

筆記試験の対策もですが、それと同時に、宇陀市で働きたいという気持ちを面接試験の場で伝えることが重要になってくると思います。そのためには、市についていろいろと調べてみたり、イベントに参加してみたりすればいいのではないのでしょうか。また、学生の方ならゼミやサークル活動等を通じて、さまざまな人と関わりを持つことが、受験の際にも求められる、コミュニケーション能力や思考力を鍛えることにつながると思います。

みなさんへひとこと！

就活するなかで、たとえ失敗するようなことがあっても、その経験が糧になり、いつか役に立つときが来ると思います。ですので、目先のことにあまりとらわれすぎずに、何事も経験だと思って、さまざまなことにチャレンジしていただけたらと思います。